



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



5月号

令和5(2023)年度

5月1日(月)

「寄り添うということ」

副校長 神田 裕一

過日行われました学校公開及び保護者会にご参会いただきまして、ありがとうございました。

全体保護者会の中でもお話をさせていただきましたが、本校では、子供たちが「楽しく」「安心」「安全」に日々の学校生活が過ごせるよう努めているところです。

さて、今回はその「安心」について、仕組みではなく、違う角度から考えてみたいと思います。

2017年、2011キロメートルの世界一長い超ロングゴルフコースを82日間かけて達成した二人組がいます。このコースがあるのはモンゴル国。達成した人は、元香港代表でもあったプロラグビー選手です。一人が打ち、一人がキャディを兼ねてテントや食料などを積んだりヤカーを引きながらプレーを続けたそうです。また、湿地帯による悪路のコースと四日間しか晴れ間がなかった天候に悩まされながらもホールアウトしたそうです。

ただ、私が興味をもったのは、ゴルフコースでも記録達成でもなく、「UB」と名付けられた一匹の大きな黒色の野良犬についてでした。どこからともなく現れ、ずうっと二人と一緒にコースを回ったそうです。達成した二人は、「UBが随分と心を癒やしてくれた。UBがいなければ回り切ることはできなかつたろう。」と話しています。画像には、二人の傍でたたずんだり寝そべったりする様子が写っていました。二人にとっては、何も言わなくても、いてくれるだけで心の支えとなったようです。

私は自分に問うことがあります。「子供たちにとって安心できる存在なのか」と。安全を考えた時、生活指導上、注意をすることが多くなるのは事実です。ただ、先程の話のUBのように“見守るだけでも安心を与えられる”、そんな存在であることも教員として一つの理想だと考えます。これは学校だけではなく家庭での子育てにも通じるものがあると感じます。

今年は卯年。巷の情報からは、「芽を出した植物が成長して茎や葉が伸びる時期。」「目に見えて大きく成長する時期。」「ウサギは跳びはねることから、飛躍の年。たくさんの子を生むことから豊穰、子孫繁栄の象徴。」などの記載が目に入りました。正に大きな飛躍の年になるのではないのでしょうか。

そんな飛躍をする子供たちに対して、教職員一同チームとなって、所狭しと自由に飛び跳ねることで自分の可能性を見つけ出させると共に、飛び跳ねた後の着地点をしっかりと見極める適性も身に付けさせたいと考えています。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

離任の挨拶

檜原小は、少人数校のよさを存分に発揮し、一人一人がたくさんの体験を通して学ぶことのできる素敵な場所でした。私も、全校児童の顔も名前や個性も分かり、時には担任のように関われるすてきな学校でした。

檜原村での3年間は、楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。保護者、地域の方々によくしていただき、大変感謝しております。本当に、ありがとうございました。檜原小学校の益々の発展を瑞穂から応援しています。

6年間檜原小学校で働くことができ、本当に幸せだったと思います。檜原小学校では、2年生の担任以外はすべて経験することができ、檜原の自然の豊かさ環境の良さや檜原の豊かな人材、地域の方とのつながりを、学ばせていただきました。また、温かい保護者の皆様のご支援など、全て私にとってかけがえのない経験となり教育の原点を築くことができました。感謝の思いでいっぱいです。皆様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。檜原小学校大好きです。

檜原小学校での6年を振り返ると、たくさんの素敵な出来事が思い出されます。特に、地域の方々にご協力いただいたからこそ、檜原の自然があるからこそ実現した授業はとてもよい思い出です。初任として檜原小学校に着任し、右も左も分からない中でのスタートでしたが、保護者や地域の皆様には大変お世話になり、子供たちとともに育てていただいた思い出です。本当にありがとうございました。

私の母校でもある檜原小学校は、教室から四季を感じることのできるとても素敵な場所だということ、改めて実感した2年間でした。そんな素敵な場所で働くことができ、とても幸せでした。子供たちが日々の生活の中で、「できるようになったよ!」と伝えてくれることが何より嬉しく、私の原動力になっていました。本当にありがとうございました。檜原で培ったことを生かし、新しい学校でも頑張ります。

1年生を迎える会

4月12日に1年生を迎える会を行いました。今年度は8名の新入生を迎え、全校児童数が60名になりました。瞳を輝かせて入場してくる1年生、大きな声で自己紹介もできました。温かいまなざしでそれを見守る上級生たち。6年生が司会進行を務め、5年生の考えたゲームも楽しみました。各学年それぞれの工夫で、新1年生を歓迎しました。今年度も集会活動やたてわり班活動を通して、子供たちの絆を強めてほしいと願っています。



特活部

5月生活目標

ていねいな言葉づかいをしよう

言葉は自分の気持ち考えや感情等を相手に伝え、人との関わりを深めるためのコミュニケーションの基本です。

友達と先生、学校と家庭など、相手や場面に合わせた言葉づかいを意識して、気持ちのよい生活が送れるように取り組んでいきます。

ご家庭でもご協力をよろしく
お願いいたします。

生活指導担当



1・2年

1・2年生は、「金比羅山」へ遠足に行ってきました。たてわり班ごとに、2年生が1年生を励ましなが、みんなで歩き通すことができました。



1年担任

3・4年

3、4年生の遠足で「大羽根山」に行きました。雨予報が心配されましたが、天候にも恵まれ、当日を迎えられました。最初の急な山道では「きつよ。」「早くお弁当食べたい。」などと言っていましたが、子供たちが互いに声を掛け合い、励まし合い登りきることができました。子供たち同士の「頑張ろうよ。」「ゆっくりでいいよ。」などの声掛けは大きなパワーになったに違いありません。友達の存在の大きさをとても感じました。

山を登り切った子供たちの表情はとても気持ちの良い様子でした。様々な行事を通して、子供たちの横のつながりを深めていけたらと思います。



4年担任